



SDGs 達成に向けた取組み

東南アジアでの市場展開を目的とした環境負荷低減型の日本酒の製造及び販売



目的・背景

近年、日本人の食文化の嗜好の多様化により、国内では日本食文化を引き出す日本酒の消費量が激減しています。この素晴らしい伝統ある日本酒を、従来の杜氏の匠の技を踏襲しながら、環境負荷低減を意識し、温室効果ガスを削減する発酵法で、東南アジア市場の嗜好にあった日本酒を仕上げ、そして、東南アジアで 14 億人と世界一の人口を抱える巨大市場の中国での販売を計画しています。



酒の発酵樽



酒の調合機器



開発メンバー

具体的な取組内容

令和 6 年 4 月に今治市の酒蔵、中国の飲食市場を熟知している商社と弊社で、中国市場に適合した日本酒の販売事業の検討を開始しました。

令和 6 年 5 月に中国の日本酒の市場動向を調査しました。

令和 6 年 7 月に中国市場に好まれる日本酒のイメージ創りを中国人シェフを交えて検討しました。

令和 6 年 8 月に中国市場を目指して日本酒を試作し、関係者で試飲をしました。

令和 6 年 12 月に中国市場を意識した日本酒の製法を確立しました。

令和 7 年 3 月に日本酒の仕込みをします。

成 果

- ①中国での日本酒の市場動向を確認できました。
- ②中国の市場に適合し、環境負荷低減した日本酒造りの方法を開発しました。

計画通りに事業は進んでおり、現在、日本酒の仕込み用の原料を手配している段階なので、まだ成果はでていません。来期には成果を報告できます。

担当者の思い

SDGs に積極的に取り組んでいることで、日本酒の蔵元が弊社の中国での日本酒の販売に興味を持ってくださいました。さらに、日本酒作りの SDGs の取組みを社内でも共有することで、社員の SDGs に対する意識が高まりました。自社の異分野の新規事業を通して地域社会に貢献しているという実感が得られ、モチベーションの向上にもつながっています。今後も、弊社にとってメリットとなる SDGs 活動を考え、目標の達成に貢献していきます。



〈新規事業 専務取締役 工学博士 幾島 賢治〉